



ソレイユニュースレター 発行日 平成20年7月1日 発行部数 1000部 発行人 大谷 静子 編集製作 研究情報委員会
発行所 相模原市立男女共同参画推進センター ソレイユさがみ 〒229-1103 神奈川県相模原市橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内)

～ソレイユ知って、楽しんで！！～ ソレイユさがみ男女共同参画フェスティバルを終えて

オープニングセレモニーでは、江成男女共同参画課長から市長の祝辞代読と、ご挨拶をいただきました。大谷実行委員長の挨拶の後、引き続き、心と身体の健康体操でからだをほぐし、リラックスした雰囲気の中で盛大に開催されました。



セミナールーム1は連日大賑わい！



布絵本、布おもちゃの展示は親子づれの参加者でにぎわいました。



29日・おもちゃの病院では、壊れたおもちゃを持参し修理、よみがえったおもちゃに大喜び！！



28日セミナールーム2において立教大学講師高井先生による「妻と夫の再チャレンジ」と題して講演が行われました。定年後、夫と妻がともにいかに楽しく過ごすか、をユーモアを交えたお話でした。

平成20年6月28日(土)・29日(日)開催



今後の講座ラインナップ



【7・8・9月の講座】

7月12・19日・8月2・16・23・30日(土)

14:00～16:00

「もやもやスッキリわたしの文章術」

7月14日(月) 10:00～12:00

「であいのサロン」

7月17日(木) 18:30～20:30

「講演・トーク&トーク 男女共同参画社会
へ男性からのメッセージ」

7月18日(金) 10:00～12:00

「夏休み特別企画
テレビアニメを2倍楽しむ方法」

7月20・27日(日) 10:00～12:00

「パパのための夏休み子育てコーチング」

7月26日(土) 10:00～12:00

「市民企画講座
こわがらないで、でも甘くみないでガンを！」

8月2・16日(土)・24日(日)・9月6日(土)・14・21日(日)

10:00～12:00

「市民企画講座 親子が成長する
コミュニケーション能力を高めるワークショップ」

8月6日(水) 10:00～12:00

「夏休み親子絵てがみ教室」

8月22日(金) 13:30～15:30

「市民企画講座 講演会 生誕150周年
相模原市の偉人 尾崎行雄を知ろう」

8月28日・9月4・18日(木) 18:30～20:30

「男女で学ぶキネステイク
ドイツ発 腰痛にならない介助のしかた」

購入しました！



- 「ジェンダー白書6ー女性と健康ー」
北九州市男女共同参画センター編 明石書店
- 「パパの極意ー仕事も育児も楽しむ生き方ー」
安藤 哲也 日本放送出版協会
- 「プレ更年期からの女性ホルモン塾」
対馬 ルリ子 他 小学館
- 「加害者は変わるか？」
信田 さよ子 筑摩書房
- 「コケッコーさんとおたすけひよこ」
かるく こうぼう フレーベル館
- 「団塊世代の地域デビュー心得帳」
細内 信孝 編 ぎょうせい

他にも23冊購入しました。
ご来館をお待ちしております！

ソレイユさがみ情報コーナーの蔵書は、ジェンダー・子育て・DV・介護・女性就労等、男女共同参画に関する書籍や絵本が中心になっています。皆様によりよく活用していただけるよう、新書のリクエストを受け付けています。設置の新書リクエストカードに記入し事務局までお持ちください。(ただし、図書・資料選定基準があり、ご希望に添えないこともございます。ご了承ください。)

ジェンダークイズ?!

お父さんが息子さんとドライブに出かけました。とても楽しいドライブでしたが、家路に急ぐ途中、運悪く交通事故に遭遇してしまいました。幸いお父さんは軽傷でしたが、息子さんは重体。救急車で病院に担ぎ込まれ、手術を受けることになりました。

ところが、手術をする主治医が「自分の子供に対して冷静にオペができない。」と言い出しました。さて、この3人の関係は？

(男女共同参画の広報啓発に関する研究会より)



新登録団体の紹介(目的・活動内容)

次の世代のための九条の会 会員数 12名

憲法九条を守り、次の世代に平和な世の中を受け渡すことをめざし、定例会、学習会、機関紙の発行をする。

NPO法人さがみはら教育応援団 会員数 35名

社会人(男女の別なく)による教育補完事業を行い子どもたちの健全な発達や学習の支援、社会教育の推進・向上に寄与することを目的とする、子育て支援事業の実施。

※ 現在登録団体 88団体

(団体の紹介は申請書の抜粋です。)

編集後記



(クイズの答え)お医者さん(特に外科医など)は男性という固定観念が働きませんでしたか。今では、あらゆる分野に女性の進出が目立ってきていますが、まだまだ女性が個性と能力を十分に発揮しえないのが現状です。このような中で、女性の新しい発想や多様な能力を活かせるよう、男女共同参画社会の実現に向けた取組みが一層求められています。フェスティバルの特集はいかがでしたか？ 次号もどうぞ、お楽しみに！！ (藤原)